

VPC-SH5

SDI to HDMIコンバータ

《アップ・ダウンコンバート/フレームレート変換対応モデル》

取扱説明書



- 分解しない**
禁止
ケースのフタを開けたり改造したりすると、感電や火災の原因となります。
内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。
- ほこりや湿気が多い場所では使用しない**
禁止
ほこりや湿気は、ショートの原因となり、発熱、火災や感電の原因となります。
- 内部に水や異物を入れない**
禁止
水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。
- 雷が鳴りだしたら使わない**
禁止
本体やプラグには触れないでください。感電の原因となります。
- ぬれた手で触らない**
禁止
ぬれた手で電源ケーブルのプラグや、コネクタに触れないでください。感電の原因となります。
- 直射日光の当たる場所に置かない**
禁止
日光のあたる場所や熱器具のそばに置かないでください。火災や製品の故障の原因となります。

煙が出たらプラグを抜く
強制
本製品を使用中に万が一、煙が出る、異臭がするなどの問題が発生した場合は、直ちに使用を中止し、コンセントからプラグを抜いてください。煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用を継続すると、火災や製品の故障の原因となります。異常が発生したら、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

- 注意 設置について**
 - 不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。落下するおそれがあり、けがをしたり、製品が故障したりする原因となります。
 - 電源コードやケーブル類は整理して配置してください。足を引っかけると、けがや製品の故障の原因となります。
 - 風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用しないでください。通風口がふさがれると内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。

ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点等がございましたら、MEDIAEDGE株式会社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MEDIAEDGE株式会社カスタマーサポート TEL: 078-265-1552 FAX: 078-265-1550
月曜～金曜: 10:00～12:00、13:00～17:00 ※土日祝日 および 当社指定休日をのぞく

- ご注意**
1. 本書の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
 2. 本書の内容や仕様は将来予告なしに変更することがあります。
 3. 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがございましたら、当社までご連絡ください。
 4. 運用した結果については、3項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
 5. ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
 6. 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
 7. MEDIAEDGEはMEDIAEDGE株式会社の登録商標です。
 8. HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
 9. Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラストおよび画面写真が異なる場合があります。

■健康上のご注意
ごくまれに、コンピュータのモニターおよびテレビ画面に表示される強い光の刺激や点滅によって、体に異常を感じる方がいます。本製品の運用にあたっては、十分留意してください。

警告 電源コードを傷つけない
禁止
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したりしないでください。
電源コードを抜くときは、プラグ部分を持ってください。電源コードが痛んだら、使用を中止し、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。

お手入れについて

- お手入れの際には、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。コンセントに接続したままだと、感電や故障の原因となります。
- お手入れの際、シンナーなどの揮発性の溶剤は使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、電源ケーブルをコンセントから外してください。

個人情報の取り扱いについて

当社では、お客様の個人情報は原則として下記の目的以外では使用いたしません。

1. ご利用の製品のサポートの実施
2. 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
※ 調査結果につきましては、お客様の個人情報を含まない形で当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがあります。
3. 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
4. ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供
5. 懸賞企画等で当選された方への賞品の発送

保証規定

- 本機の保証期間は3年間です。
- 保証をお受けいただくには、ユーザー登録を行っていただく必要があります。
- ユーザー登録を行っていただく、保証書がダウンロードできます。
- 保証期間の開始日は、当社出荷日を起点に翌々月1日より3年間となります。
- 取扱説明書に記載の注意事項や使用方法に反した使用方法による故障に関しては保証できません。
- 本保証規定は、日本国内においてのみ有効です。本機を日本国以外で使用した際の故障に関しては保証できません。

ユーザー登録方法

パソコンやスマートフォンなどから登録サイトにアクセスしていただき、製品のシリアルナンバーを入力してください。
<https://www.mediaedge.co.jp/support/user>

シリアルナンバーは、製品またはパッケージに貼付されています。MEから始まる10桁のシリアルナンバーを入力してください。

サンプル:

左記サンプルの場合
「ME22XX1234」が
入力いただくシリアルナンバーになります。

内容物

VPC-SH5には以下のものが含まれています。

- ・取扱説明書 × 1
- ・専用ACアダプタ（日本国内仕様）× 1
- ・VPC-SH5本体 × 1
- ・ブラケット× 2（本体に付属）
- ・ケーブルクランプ × 2 （HDMI、USBケーブル用）

ケーブルクランプ使用方法
ネジをゆるめて、クランプをはさみ、ネジを締めて固定します。
クランプ本体とHDMI / USBケーブルをバンドで固定します。

接続
専用ACアダプタ（日本国内仕様）

- 本機と他の機器との接続は以下に行います。
1. ACアダプタ、USBケーブルを本体から取り外してください。
 2. 入力コネクタにビデオソース機器等を接続してください。
 3. 出力コネクタにディスプレイ機器等を接続してください。
 4. ACアダプタまたはUSBケーブルを本体に接続してください。

パネル

■フロントパネル

①	SDIパススルー出力コネクタ	SDI入力のアクティブパススルー出力です。
②	HDMI出力コネクタ	変換されたHDMI信号が出力されます。
③	電源ジャック	付属のACアダプタを接続します。
④	HDMIケーブルクランプ用ネジ穴	付属のケーブルクランプを取付けて、HDMIケーブルの抜け止めになります。

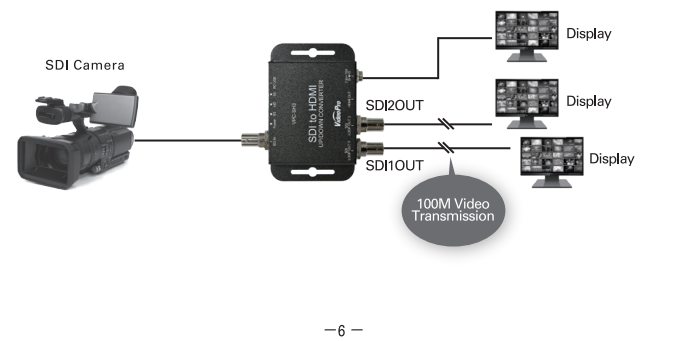
■リアパネル

①	USB Micro-Bコネクタ	PCと接続してファームアップ・機器の設定に使用します。またUSB 5Vバスパワーによる給電が可能です。
②	LED	機器・SDI入力信号の状態を表示します。
③	ディップスイッチ	各種設定を行います。
④	SDI入力コネクタ	変換するSDI信号を入力します。
⑤	USBケーブルクランプ用ネジ穴	付属のケーブルクランプを取付けて、USBケーブルの抜け止めになります。



機能

- ・幅広い入力に対応し、それらを任意解像度・フレームレートへ変換可能です。
- ・3G/HD/SD-SDI信号入力に対応しています。
 - 3G-SDI Level A Direct image format mapping (SMPTE425M)
 - 3G-SDI Level B-DL SMPTE ST372 Dual Link mapping (SMPTE 425M)
 - 3G-SDI Level B-DS 2xSMPTE ST292-1(HD-SDI) dual-stream mapping(SMPTE 425M)
 - HD-SDI (SMPTE 292M)
 - SD-SDI (SMPTE 259M)
- ・入力解像度自動検出
- ・オーディオ入力最大8chまで対応
- ・SDIアクティブパススルー出力を 2つ搭載
- ・USBバスパワー給電に対応（ACアダプタ給電優先）
- ・ディップスイッチによる機器設定およびWindowsユーティリティによる設定に対応
- ・USB接続によるファームウェアアップデート機能
- ・筐体ブラケット着脱可能
- ・RoHS2指令準拠



パネル

■サイド

①	筐体ブラケット	筐体固定用のブラケット金具で、取り外しが可能です。
---	---------	---------------------------

The image shows a black SDI to HDMI Up/Down Converter. It has an SDI input on the left, an HDMI output on the right, and a control panel on the top. The control panel includes a '1=UP' button, a '0=DOWN' button, and a 'Pass Through' button. The device is labeled 'SDI to HDMI Up/Down Converter' and 'VidPro Pro'.

■ ボトム

SDI to HDMI Up/Down Converter

Control	Audio	Mode	Video Output Format				FPS	
1=UP 0=DOWN	DIP	Un-Mute	AV	BIT 1	BIT 2	BIT 3	BIT 4	1000 1001
	USB	Mute	PC					
	1	2	3	4	5	6	7	8

4-7 Output Format Selection Table

AV 1080p60
PC 1920x1080p60

1	4	5	6	7
0				

AV 1080p50
PC 1680x1050p60

1	4	5	6	7
0				

AV 1080p30
PC 1600x1200p60

1	4	5	6	7
0				

AV 1080p25
PC 1440x1050p60

1	4	5	6	7
0				

AV 1080p24
PC 1440x900p60

1	4	5	6	7
0				

AV 1080i60
PC 1400x1050p60

1	4	5	6	7
0				

AV 1080i50
PC 1366x768p60

1	4	5	6	7
0				

AV 720p60
PC 1280x1024p60

1	4	5	6	7
0				

AV 720p50
PC 1280x960p60

1	4	5	6	7
0				

AV 480p60
PC 1280x800p60

1	4	5	6	7
0				

AV 576p50
PC 1280x720p60

1	4	5	6	7
0				

AV 480i59
PC 1024x768p60

1	4	5	6	7
0				

AV 576i50
PC 800x600p60

1	4	5	6	7
0				

PC 640x480p60

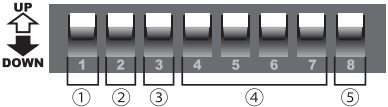
1	4	5	6	7
0				

Pass Through

1	4	5	6	7
0				

DIPスイッチ

ディップスイッチにより本器の設定を行うことができます。



① USBコントロールモード (1: UP/0: DOWN)

コントロールモード	DIPSW [1]
ディップスイッチ制御モード	UP ↑
USB制御モード	DOWN ↓

※DIPSW[1]をUSB制御モードに設定した場合

- ・本記の全ての設定をUSBから行うことが可能です。
- ・DIPSW[2]～[8]の設定は使用されません
- ・設定内容は電源をOFFにしても保持され、電源起動時に使用されます。

※DIPSW[1]をディップスイッチ制御モードに設定した場合

- ・DIPSW[2]～[8]の設定が即時に使用されます。
- ・DIPSW[2]～[8]にて設定可能な項目はUSBから設定できません。
- ・設定内容は電源をOFFしても保持されます。
- ☆電源起動時にはDIPSW[2]～[8]の設定が優先して使用されます。
- (USBによる設定データは保持されますがDIPSW[2]～[8]に相当する部分は使用されません。)

② オーディオミュート設定 (1: UP / 0: DOWN)

オーディオミュート機能	DIPSW [2]
オーディオミュート無効 (音が出ます)	UP ↑
オーディオミュート有効 (音が出ません)	DOWN ↓

③ 出力フォーマットモード切替 (1: UP / 0: DOWN)

フォーマットモード切替機能	DIPSW [3]
AV mode (CEA861)	UP ↑
PC mode (VESA)	DOWN ↓

DIPスイッチ

④ 出力フォーマット表 (PC mode (VESA))

HDMI出力フォーマット	DIPSW[3]	DIPSW[4]	DIPSW[5]	DIPSW[6]	DIPSW[7]	DIPSW[8]
1920×1080 p60		↑	↑	↑	↑	
1680×1050 p60		↑	↑	↑	↓	
1600×1200 p60		↑	↑	↓	↑	
1440×1050 p60		↑	↑	↓	↓	
1440×900 p60		↑	↓	↑	↑	
1400×1050 p60		↑	↓	↑	↓	
1366×768 p60	↓	↑	↓	↓	↑	
1280×1024 p60		↑	↓	↓	↓	
1280×960 p60		↓	↑	↑	↑	
1280×800 p60		↓	↑	↓	↓	
1280×720 p60		↓	↑	↓	↑	
1024×768 p60		↓	↑	↓	↓	
800×600 p60		↓	↓	↑	↑	
640×480 p60		↓	↓	↑	↓	
Pass Through		↓	↓	↓	↓	

※Pass Through設定の場合には内部のスケラをバイパスします。入力されたものと同じ解像度・フレームレートの信号を出力し、OSD表示はされません。入力がない場合には出力も停止します。

また、仕様表のPass Through対応フォーマットをご確認ください。

※“—”の個所は設定に影響しません。

⑤ フレームレート切替(1: UP / 0: DOWN)

フレームレート切替	DIPSW [8]
1000(60Hz)	UP ↑
1001 (59.94Hz)	DOWN ↓

※AV mode (CEA861) 系のみに有効

DIPスイッチ

④ 出力フォーマット表 (AV mode (CEA861))

HDMI出力フォーマット	DIPSW[3]	DIPSW[4]	DIPSW[5]	DIPSW[6]	DIPSW[7]	DIPSW[8]
1080p60		↑	↑			↑
1080p59.94		↑	↑	↑	↑	↓
1080p50		↑	↑	↑	↓	—
1080p30		↑	↑	↓	↑	↑
1080p29.97		↑	↑	↓	↑	↓
1080p25		↑	↓	↑	↓	—
1080p24		↑	↓	↑	↑	↑
1080p23.98		↑	↓	↑	↑	↓
1080i60	↑	↑	↓	↑	↓	↑
1080i59		↑	↓	↑	↓	↓
1080i50		↑	↓	↓	↑	—
720p60		↑	↓	↓	↓	↑
720p59.94		↑	↓	↓	↓	↓
720p50		↓	↑	↑	↑	—
480p60		↓	↑	↑	↓	↑
480p59.94		↓	↑	↑	↓	↓
576p50		↓	↑	↓	↑	—
480 i59.94		↓	↑	↓	↓	—
576 i50		↓	↓	↑	↑	—
Pass Through		↓	↓	↓	↓	—

※Pass Through設定の場合には内部のスケラをバイパスします。入力されたものと同じ解像度・フレームレートの信号を出力し、OSD表示はされません。入力がない場合には出力も停止します。

また、仕様表のPass Through対応フォーマットをご確認ください。

※“—”の個所は設定に影響しません。

LED表示



LED	名 称	表示内容
①	SD	緑点灯:SDI入力かSDフォーマットの場合
②	HD	緑点灯:SDI入力かHDフォーマットの場合
③	3G	緑点灯:SDI入力か3Gフォーマットの場合
④	Power	緑点灯:SDI入力検出状態 青点灯:SDI入力未検出状態

ユーティリティソフトウェア【Box Center】

本機とPCをUSB接続することで、入出力情報の表示等が可能となる、WindowsアプリケーションのユーティリティであるBoxCenterを用意しております。

弊社ホームページ (https://www.mediaedge.co.jp/support/download/driver/) からダウンロードの上、ご活用ください。

対応動作環境

Windows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 10 / Windows 11

PCへのインストール方法

ダウンロードしたZip形式ファイルを同一フォルダに展開してください。

BoxCenter.exeをダブルクリックするとユーティリティが起動します。

PCとの接続方法

USB Micro-B – USB Type Aケーブルを用意いただき、本機のUSBコネクタとPCのUSBコネクタを接続します。 Windows HID準拠ドライバを使用するため、初回接続時に自動でHIDドライバがインストールされます。

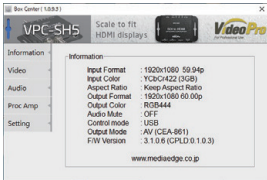
使用時の注意事項

本ユーティリティは、複数のコンピュータを接続して同時に制御することはできません。

また、ファームウェアアップデートツールUpload Firmware.exeも同時に使用できません。

Information

- ・Input Format: 入力ビデオ信号のフォーマットが表示されます。
- ・Input Color: 入力ビデオ信号のカラースペースが表示されます。
- ・Aspect Ratio: 出力ビデオ信号のアスペクト比設定が表示されます。
- ・Output Format: 出力ビデオ信号のフォーマットが表示されます。
- ・Output Color: 出力ビデオ信号のカラースペースが表示されます。
- ・Audio Mute: オーディオミュート機能の有効 (ON) ・無効 (OFF) が表示されます。
- ・Control mode : 現在のコントロールモードが表示されます(DIPSW/USB)
- ・Output Mode : 出力ビデオのフォーマットモードが表示されます。
- ・FW Version : ファームウェアのバージョンが表示されます。



ユーティリティソフトウェア【Box Center】

Video

・Control Mode: 本体DIPSWのコントロールモード設定が表示されます。

▶USB: USBモードです。すべての設定をBoxCenterから設定・変更が可能です。

▶DIPSW : DIPSWモードです。DIPSWで設定できる項目以外はBoxCenterから設定・変更が可能です。

・Output Mode: 出力設定可能なフォーマットのモードを切替えます。(デフォルト: AV Mode(CEA-861))

▶AV Mode (CEA-861) : Output FormatにてCEA-861準拠の信号を選択できます。

▶PC Mode (VESA): Output FormatにてVESA系統のフォーマットを選択できます。

※DIPSWモードの場合は操作できません。

・Aspect Ratio: ビデオ出力のアスペクト比を設定します。(デフォルト: Keep Aspect Ratio)

▶Keep Aspect Ratio : 入力フォーマットのアスペクト比を保持します

▶Full Screen: 全画面での表示

▶16:9 : 16:9での表示

▶4:3 : 4:3での表示

▶Dot By Dot : Dot By Dotでの表示

▶Pan Scan 16:9 : 横方向へ引き伸ばし、左右を切り取り4:3として表示します。

▶Pan Scan 4:3: 縦方向へ引き伸ばし、上下を切り取り16:9として表示します。

・Output Format: 出力するフォーマットを選択可能です。(デフォルト: 1920x1080 60.00p)

▶Pass Through : スケラを介さずに入力されたものと同じ解像度・フレームレートで出力するモードです。入力が止まると出力も止まります。

▶各フォーマット: スケラを介して指定した解像度・フレームレートに変換して出力するモードです。

※DIPSWモードの場合は操作できません。

・HDMI Output Color : HDMI出力の色空間を変更できます(デフォルト: Auto)

▶Auto: EDIDを確認し、対応するカラースペースで出力します。(優先順位YCbCr444 > YCbCr422 > RGB)

▶YUV444: YCbCr 4:4:4が選択されます。

▶YUV422: YCbCr4:2:2が選択されます。

▶RGB: RGBが選択されます。

・HDMI Output Mode : HDMI出力のHDMI/DVIモード選択をします。(デフォルト: HDMI)

▶HDMI: HDMIモードで出力されます。オーディオおよびInfoFrameなどのパケットも重畳されます。

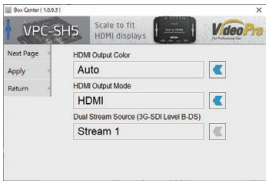
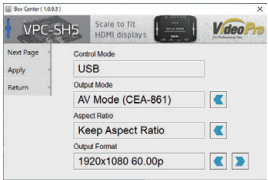
▶DVI: DVIモードで出力されます。オーディオおよびInfoFrameなどのパケットは重畳されません。

・Dual Stream Source : 3G-SDI Level B-DS入力時にStream 1 / Stream 2を選択します。(デフォルト: Stream 1)

▶Stream 1 : 選択されたStreamがHDMI出力より出力されます

▶Stream 1 : Stream 1を選択します。

▶Stream 2 : Stream2を選択します。



仕様

SDI入力	3G-SDI Level A Direct image format mapping (SMPTE 425M) 3G-SDI Level B-DL SMPTE ST372 Dual Link mapping, (SMPTE 425M) 3G-SDI Level B-DS 2xSMPTE ST292-1(HD-SDI) dual-stream mapping (SMPTE 425M) HD-SDI (SMPTE 292M) SD-SDI (SMPTE 259M)
SDIスルー出力	アクティブスルー(イコライザ/クロックは常に有効)
HDMI出力	HDMI Ver.1.3a、HDCP非対応、CEC非対応、DeepColor非対応、色空間 RGB/ YCbCr444/ YCbCr422切替可能
オーディオ入力	SDIエンベデッド・オーディオ (LPCM Max.8ch,48kHz)
オーディオ出力	HDMIエンベデッド・オーディオ (LPCM, Max.8ch, 48kHz)
入力遅延	スケラモード: 最大2フレーム。 Pass Throughモード: 最大2ライン
推奨SDIケーブル	・RG6(5CFB相当) 75Ωの場合 3G: 最大100m / HD: 最大170m / SD: 最大400m ・RG59(3C2V相当) 75Ωの場合 3G: 最大86m / HD: 最大 120m / SD: 最大 280m ※RG6:CANARE L-5CFB, RG59:Belden 9275にて測定 ※最大ケーブル長は使用する機器やケーブルの性能、品質によって大きく変わります。
入力端子	SDI(75Ω BNC) x 1
出力端子	HDMI Type A x 1系統 SDI LOOP THRU(アクティブスルー出力) (75Ω BNC) x 2
USBコネクタ	USB Micro-B x 1
DIPスイッチ	8bit (Control / Audio Mute / Video Format / Frame rate)
ケース	SECC
寸法	L: 103.6mm x W: 63.6mm x H: 22.5mm (ブラケット含む)
重量	209g
電源(ACアダプタ給電)	ACアダプタ: AC100~240V / DC12V 最大230mA
電源(USB給電)	USB / バッパワ+5V 最大480mA
最大消費電力	3.27W (ACアダプタ含む)
動作温度範囲	動作温度範囲: 0 ~ 50℃ ※結露なきこと
保存温度範囲	-20 ~ +60℃

※電源はACアダプタ給電が優先されます。

■ SDI入力対応フォーマット
SD-SDI : 720x480i59.94, 720x576i50,
HD-SDI : 1280x720p59.94/p60/p50,
1920x1080i59.94/i60/i50,
1920x1080p23.98/p24/p25/p29.97/p30,
3G-SDI Level A : 1920x1080p59.94/p60/p50
3G-SDI Level B-DL : 1920x1080p59.94/p60/p5
3G-SDI Level B-DS : 1280x720p59.94/p60/p50
1920x1080i59.94/i60/i50,
1920x1080p23.98/p24/p25/p29.97/p30,
※3G-SDI Level B-DSのストリーム選択はBoxCenterにて設定する

ユーティリティソフトウェア【Box Center】

Audio

・Audio Mute (デフォルト: OFF)

出力音声のミュート機能のオン/オフが可能です

▶OFF: ミュート機能が有効となり音声は出力されません

▶ON: ミュート機能が有効となり音声は出力されません。

※DIPSWモードの場合は操作できません。



Proc Amp

・出力映像の調整を行うことが可能です。(デフォルト: 128)

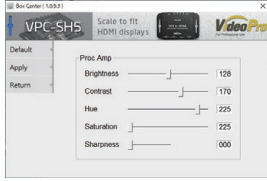
▶Brightness: ブライテネス調整(輝度信号のオフセットを変更)

▶Contrast: コントラスト調整(輝度信号のレベルを変更)

▶Hue: ヒュー調整(色信号の色相を変更)

▶Saturation: サチュレーション調整(色信号のレベルを変更)

▶Sharpness: 輪郭を強調します。(デフォルト: 0)



Setting

・OSD Hide: OSD表示機能のオン/オフが可能です。(デフォルト: Un-Hide)

起動時や入力/出力フォーマットが変わった場合に画面上(左上)

OSDにて入力 / 出力フォーマットが表示されます。

※Pass Throughモードの場合にはOSDは表示されません。

▶Un-Hide: OSD表示を有効にします

▶Hide: OSD表示を無効にします。

・Pattern Mode: 内蔵のパターンジェネレータ機能を利用できます。(デフォルト: Disable)

▶Disable : パターンジェネレータ機能を解除します

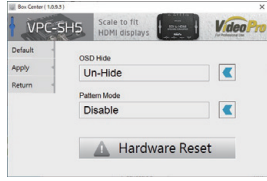
▶各種パターン: 表示するテストパターンを選択します。入力がない場合も出力可能です。

※音声は入力音声が入力され、入力がない場合は無音となります。

※テストパターンはWhite, Cross, Hatch, Color Bar, Gray, Window, H Ramp, WH Ramp, WV

Ramp, Diagonal, Red, Green, Blueから選択します。

・Hardware Reset: 設定を初期化します。



仕様

■ HDMI出力対応フォーマット <CEA861> SD : 720x480i59.94, 720x576i50, SD : 1280x720p59.94/p60/p50, 720x480p59.94/p60, 720x576p50, 1920x1080i59.94/i60/i50, 1920x1080p23.98/p24/p25/p29.97/p30, 1920x1080p59.94/p60/p50 3G Level A : 1920x1080p59.94/p60/p50 3G Level B-DL : 1920x1080p59.94/p60/p50 ※Pass Throughモードではスケラをバイパスされます ※OSD表示には対応しません ※遅延は最大2ラインです ※3G-SDI Level B-DSはPassThrough非対応です	■ Pass Through モード対応フォーマット SD : 720x480i59.94, 720x576i50, HD: 1280x720p59.94/p60/p50, 1920x1080i59.94/i60/i50, 1920x1080p23.98/p24/p25/p29.97/p30, 1920x1080p59.94/p60/p50 3G Level A : 1920x1080p59.94/p60/p50 3G Level B-DL : 1920x1080p59.94/p60/p50 1280x1024p60, 1280x960p60, 1280x800p60, 1280x720p60, 1024x768p60, 800x600p60, 640x480p60
---	---

FAQ

Q映像が出ない

A: Power LEDが青点灯している場合は入力信号を検出できていません。SDI入力側の機器から正常に信号が出ていない可能性があります。

A: Pass Throughモードの場合は仕様表にて対応するフォーマットをご確認ください。

Q 出力映像の色がおかしい場合

A: BoxCenterにて色空間の設定をご確認ください。YCbCrとRGBの切替をお試しください。

Q音が出ない

A: 本機の設定がDVIモードになっていませんか。BoxCenterにてご確認ください。

A: HDMIモニタのEDIDを読み出せていない場合はDVIモードで出力されます。HDMIモニタをほかのものに変更して音が出るかどうかご確認ください。

Q BoxCetnerで設定できない項目がある

A: 本機のコントロールモードがDIPSWモードになっていませんか。

この場合、本体DIPSWで設定できる項目はBoxCenterから設定できません。

本体DIPSWにてUSBモードへご変更ください。

またBoxCenterが 2 個以上開いている場合正常動作しませんのでご注意ください。